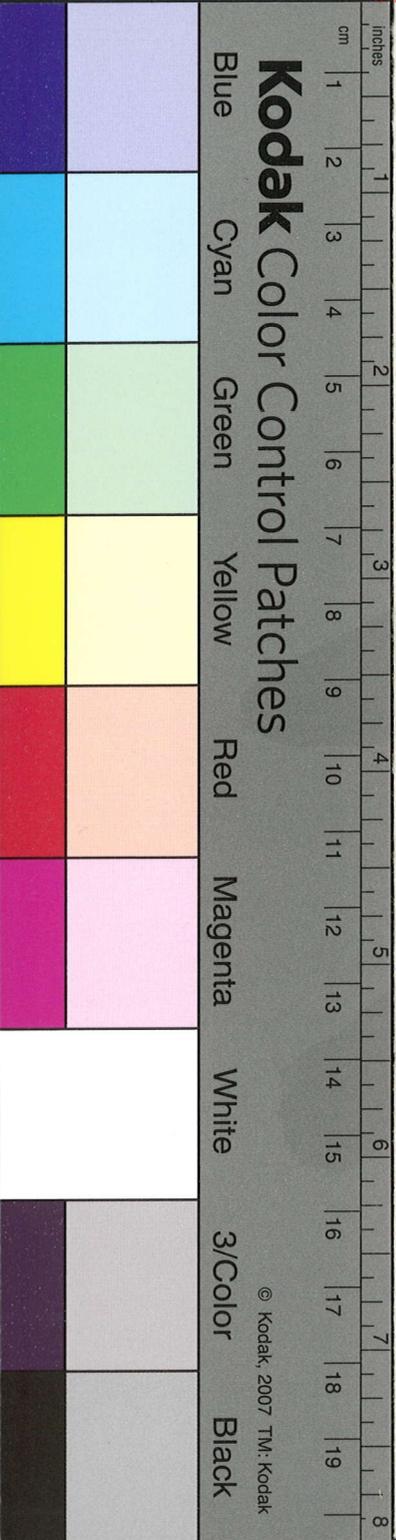


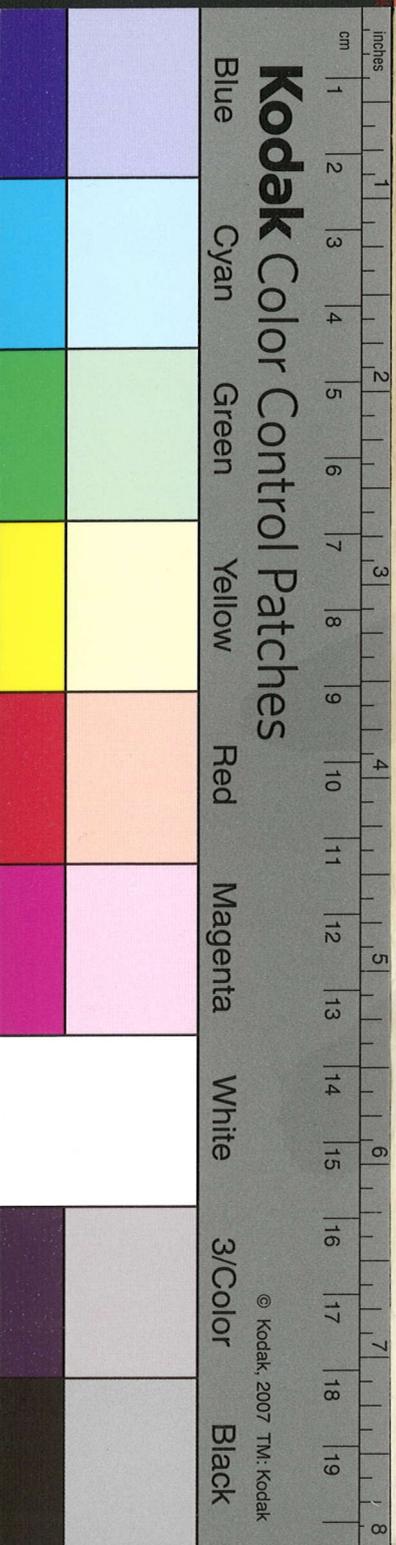


湯川秀樹 先生  
京都市左京区北白川  
大基礎物理学研究所



130 120 110 100 90 80 70 60 50 40 30 20 10 0

©2022 YHAL, YITP, Kyoto University  
京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館史料室



東京都文京区本富士町一番地

東京大学理学部物理学教室

中村誠之郎

昭和  
37  
年  
11  
月  
27  
日

0  
10  
20  
30  
40  
50  
60  
70  
80  
90  
100  
110  
120  
130  
140  
150  
160  
170  
180  
190  
200  
210

その二つがわりこまっていますか。

先月の第大の研究会の林さんの neutrino

loss の分析に刺戟されて 私共の

intermediary meson theory によって

どうなるかをしらべてみました。

1) meson の spin を  $1/2$  にとり (Yukawa 型

と 谷川 型の混合) すでに分っている

universal Fermi interaction の type

を説明しようように symmetry をきめ

ますと  $e^- + \tilde{e}^+ \rightarrow \nu + \tilde{\nu}$  は

半分には消去できません。

2

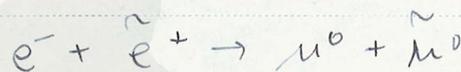
(別刷には、ふれませんでしたか)

2) meson の spin を 0 として

同じことを繰り返すと



は おとせまうか



は 残ります、 $\mu^0$  の mass を  $5 m_e$

( $m_e$  は電子の mass) にとると 林さん

の説 (御手紙を頂きました) では

星の方は予付しない そうです、

この場合は  $\beta$  崩壊 は各川型だけに

3

なりまし、Intermediary meson

の mass を 113.113 と delicate に

変えねばなりません。

もう一寸検討してのち論文に

することにして この case は有

きました。

片山さんの所論では京都では indefinite

metric をつかって うまくいきました

それで 期待 しています。

そのうちに又京都への上し所論を

よくいたいと存じております

東京大学理学部物理学教室

11月27日

中村誠太郎

Kodak Color Control Patches

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

Magenta

White

3/Color

Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak

追伸

10月の湯浅年子さんから 1957年

に Langer effect と同じ結果を下記の

参考文献の抄文を頂きました。

ÉTUDE DE L'INFLUENCE DU  
TERME DE FIERZ SUR LA  
FORME DU SPECTRE  
 $\beta^-$  DE  $^{90}\text{Y}$

Le JOURNAL DE PHYSIQUE ET LE RADIUM  
18 (1957) 559

湯浅さんは Tensor と Axial vector  
の Fierz term として説明されています